



佐賀大学 市民向けシンポジウム

野老朝雄のアートの世界 そして再生のデザイン

2020年、新型コロナウイルスの感染拡大によりインバウンドや内需拡大も停滞し、国内では大きな打撃を受けてしまいました。今こそ地方創生の実現に向け、コロナ禍で後退してしまったダメージから立ち直り、明日に向けた取り組みを再スタートする時と考えます。シンポジウムでは本学の理工学部4号館改修に併せて設置された有田焼陶板タイル作品「有田焼瑠璃百段階円(陰)(陽)2021」を制作された美術家・野老朝雄氏による講演と、各地で地域に関わるデザインの分野で活躍されている方々によるパネルディスカッションを開催します。

日時 令和3年12月11日(土) 13:00-17:30 開場 13:00 (会場見学)

【第1部】講演 14:00-15:30 【第2部】パネルディスカッション 15:40-17:30

場所 佐賀大学理工学部4号館1階デザインギャラリー (オンライン配信とのハイブリッド開催)

主催 国立大学法人佐賀大学

共催 一般社団法人国立大学協会九州地区支部会議

※当日は青色を基調とした服装をしてきてくださると幸いです。

※同時企画として、理工学部4号館見学、同改修ビデオ上映、建築系学生作品展示を行います。

※会場内に入る際には必ず検温・消毒・記名等をさせていただきます。体調が悪い時には来場をご遠慮ください。

※コロナの状況により佐賀大学の入構規制を行う場合は、オンライン配信のみとします。

※オンライン参加ご希望の方には申込フォーム (<https://forms.office.com/r/xzgYU2ihR4>) にて事前登録後、事務局より zoom ウェビナーの URL をお送りします。

【第1部】講演

特別講師 野老朝雄氏 (ところあさお、美術家)

1969年、東京都生まれ。幼少時より建築を学び、大学卒業後、建築家/美術家の江頭慎に師事。2001年9月11日より「繋げる事」をテーマに紋様の制作を始め、美術、建築、デザイン等の境界領域で活動を続ける。単純な幾何学原理に基づいて定規やコンパスで再現可能な紋と紋様の制作をするほか、同様の原理を応用した立体物の設計/制作も行っている。

【第2部】パネルディスカッション

「再生への道筋、その先に見たいこと」

パネラー 原田 祐馬氏 アートディレクター・デザイナー /
UMA / design farm 代表

木藤 亮太氏 株式会社ホーホウ 代表取締役

寺内 信二氏 陶芸家 / 李荘窯業所

コーディネーター 三島 伸雄 佐賀大学・地域創生担当学長補佐・教授

全体進行 橋爪 和泉 サガテレビ・アナウンサー

オンライン参加申込フォーム QR コード ▶

